

動画セミナー

原因不明の傷・アザ・骨折への対応策

— 家族が納得する調査報告とは？ —

「寝たきりの利用者がいつの間にか骨折していた」という原因不明の骨折事故が、稀に起こります。不審な点があると家族が「虐待かもしれないから調べて欲しい」と言って来ます。職員に聞き取り調査をして「原因は分からない」と回答すると、苦情申立などのトラブルになります。原因不明の傷やアザでも同様のトラブルが起こります。では、このような悩ましい事故には、どのように対応したら良いのでしょうか？本セミナーでは、原因不明の傷・アザ・骨折のトラブル事例から、事故発生時の家族対応の方法や、虐待の疑いに対する対応方法を詳しく解説します。

今すぐ抜粋版を試聴しよう！（抜粋版10分・本編35分）
<https://youtu.be/RpYdBEDz6JQ>



動画セミナー提供方法

- 提供対象：介護事業者団体・介護事業法人など
- 視聴期間：1ヶ月以上1ヶ月単位で設定
- 提供資料：セミナーテキスト
- 視聴開始：任意の期日を設定できます
- 提供価格：介護事業者団体55,000円（税込）
介護事業法人44,000円（税込）
※配信期間2カ月以上は割増必要

動画セミナー視聴までの流れ

- ①申込書を弊社宛メールで送付
申込書は弊社ホームページで：www.anzen-kaigo.com
- ②弊社より主催者にセミナー視聴ツールを送付
URL・QRコード・パスワード・セミナーテキスト
- ③視聴者にURL・QRコード・パスワードを案内
- ④参加者はパソコンやスマホでセミナーを視聴

「原因不明の傷・アザ・骨折への対応策」概要

1. 原因不明の事故が虐待の疑いにつながった事例
 - ・足の裏の不審な傷を虐待と疑われ国保連に苦情申立
 - ・原因不明の骨折で「骨折させた職員を捜せ」と要求する家族
 - ・上腕骨骨折と顔面の内出血への対応が悪く市に虐待通報
 - ・受診時に「異常な骨折で虐待の疑い」と医師が警察に通報
2. 事例の問題点と改善策
 - ・事故発見時の家族対応の問題点
 - ・「虐待の疑い」のクレームへの対応
3. 事故発生時の対応（寝たきりと動作自立で区分）
 - ・傷・アザ・発見時の対応と家族への説明方法
 - ・原因不明の骨折発生時の家族対応方法
4. 「虐待の疑い」への対応（調査報告書の作成）
 - ・虐待の疑いについて判断し結論を出す
 - ・事故の可能性について現場検証報告を記載する
5. その他の「虐待の疑い」への対応
 - ・「職員の虐待」という匿名の告発クレームへの対応
 - ・定期受診時に足のアザを発見され医師が警察に通報
 - ・役所から「利用者が殴られた」と通報があった」と連絡

5. 原因不明の骨折で骨折させた職員を捜せと要求する家族

事故対応・家族対応のポイント

📌 どんなに調べても事実は判明しない

- ・職員に聞き取り調査をしても無駄である
- ・「調査したが原因は分からない」では納得しない
- ・家族が「原因を調べる」と迫る目的は何か？

● 原因不明の事故の過失はどのように判断すれば良いか？

解説

①職員に聞き取り調査をしても判明しない

「要介護5でほとんど寝たきりの利用者が、いつの間にか骨折していた」という事故が起きると、「どのように

骨折
の
事
実
を
調
べ
る
こ
と
が
「
骨
折
に
と
ん
ど
よ
う
に
照
射
さ
れ
た
」

【傷の形状と他物との接触の状況】

傷の形状	他物との接触の状況
擦過傷（広く浅い）	ザラザラしたものに擦れたために、皮膚上に広く細かい傷
擦過傷（線状に浅い）	先の尖ったものに軽く触れたため皮膚が細長く浅く傷
裂傷（線状の深い傷）	尖ったもので強く引っ掻いたため皮膚がえぐれ、皮膚
裂傷（裂け傷）	打撃・ねじれ・皮膚の引きつりなどにより皮膚が裂け
切創（切り傷）	ナイフなどの鋭利な刃物で切ったために傷で創面が
刺し傷	針などの尖ったもので刺されたために、皮膚に細い

【内出血の形状と他物との接触状況】

内出血の形状	他物との接触の状況
小さくくっきりしている	先の尖ったものに衝突してきた内出血、皮
広くぼんやりしている	丸みのあるものに衝突してでき内出血、皮下

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275

資料請求はコチラ

<https://bit.ly/3r8L3i2>

